

吉備中央町内のPFOS・PFOA事案に係る 公共用水域等の継続モニタリング結果について

吉備中央町内のPFOS・PFOA事案に係る令和6年6月の公共用水域等の継続モニタリングの結果は、次のとおりでした。

1 調査日

令和6年6月7日(金)

2 調査結果*

(単位：ng/L)

調査地点	令和5年		令和6年		
	10月	12月	2月	4月	6月
西側沢F1	62,000	—	54,000	—	—
西側沢E2	55	—	25	—	—
西側沢B2	4,600	3,100	2,500	10,000	11,000
河平ダム	1,100	1,100	960	960	1,400
山王橋 (日山谷川)	460	470	320	560	370
大下橋 (宇甘川)	15	13	11	29	24
宇甘溪 (宇甘川)	—	—	—	34	19
地下水① (山王橋付近)	390	—	340	—	—
地下水② (大下橋下流)	—	—	—	5.1	—

※ PFOSとPFOAの合計値であり、公共用水域及び地下水の要監視項目として、暫定指針値50ng/L以下が設定されている。

注) 調査頻度：西側沢F1、西側沢E2、地下水①及び地下水②は、8月及び2月
西側沢B2、河平ダム、山王橋、大下橋及び宇甘溪は、偶数月

3 今後の対応

降雨の影響等により一定の変動があると考えており、吉備中央町原因究明委員会に調査結果を報告し、専門家の意見も踏まえながら、モニタリングを継続(次回は8月の予定)して今後の濃度の推移を注視していくとともに、町と協力して原因究明に取り組む。

公共用水域等の継続モニタリング地点及び結果

